

よつば児童生徒交流・説明会が開かれました

12月5日（金）に、よつば児童生徒交流・説明会が行われました。この日は、豊中市内においては小学校6年生が中学校に出向き交流会をもつ「小中交流会の日」と位置づけ取り組まれています。七中校区では、次年度開校する庄内よつば学園の説明及び児童会生徒会の交流として位置づけて取り組まれました。

次年度第2ステージになる小学校4～6年生は、第七中学校体育館に集まり、田中校長先生から庄内よつば学園の概要説明をうけました。



「3小1中が一つになる義務教育学校になること」「校舎のイメージ動画や建築中の写真を見る」「63制から432制になり、みなさんは第2ステージになること」等について、スクールガイドを使いながら説明がありました。その後、七中生徒会にバトンタッチされ交流を含め、次年度への思いが語されました。最初に、3小で作ってきた学校スローガンを披露、庄内西小からは「Let's enjoy よつば!!」庄内南小から「絆と個性を大切に」千成小から「e笑顔 n仲良く j自信 o思いやり yやさしい」の発表がありました。

それを受け七中生徒会からスローガンにかけた思いや学校づくりへの思いが語されました。

「このスローガンは、生徒（児童）全員の思いを大切にするため、時間をかけて何度も話し合いました。このスローガンにはみんなの通いやすい学校にしたいという思いが込められています。」



「みなさん一人一人がよつば学園の主役です。よつば学園はみなさん一人一人の声で変えていくことができます。『自分たちの学校は自分たちで作るんだ』という思いでよつば学園での新しい学校生活を作りましょう。」



「よつば学園には小学生だから、中学生だからこうというかはりません。これからはよつば生として生活していきます。困ったことや相談したいことがあります。先輩たちや先生たちにいつでも相談することができます。小学校の先生とも卒業してからも会うことができます。みんなの成長を見守ってくれる人は周りにたくさんいます。不安な人もいると思いますが、周りの人を頼りながらよつば学園での生活を一緒にがんばりましょう。」

前期生徒会執行部だった中学3年生から思いを語る・・・

「みんなが誇れるものにしたいという強い思いを大切にしながら活動してきました。校歌の録音の際には、今後も残っていく音源というプレッシャーもありましたが、この歌で心がつながっていくという実感がわきました。児童会との交流では、思っていた以上にしっかりした児童会の子たちを見て、きっといい学校にしてくれると思いました。この学校が温かく前向きで安心できる場所となるように、そうした思いを私たちは大切にしてきたので、心のどこかで知っておいてもらえたうれしいです。」



「私たちは校章や校名を考えたり、開校にむけて取り組んできました。大切にしてきたのは、自分たちの手で明るく楽しい学校にしていってほしいということです。保護者の方々や先生方、地域の方々など、色々な人が関わってくると思います。よつば学園には多くの人たちの思いがこもっています。これまで関わってきた私が、よつば学園生として学校生活を送ることができないのをとても残念に思います。新しくできるよつば学園は今とは大きく違うと思います。不安な気持ちもあるかもしれません、私たち3年生の分も楽しく学校生活を送ってください。」

最後に、それぞれの部活動の個性あふれる内容を盛り込んだ「紹介ビデオ」を見て、終えてきました。

第3ステージになる中学1、2年生は、5限目の時間帯に七中体育館に集まり、上記と同様に田中校長先生より概要説明と生徒会から決意のメッセージがありました。

また第1ステージになる小学校1～3年生は、それぞれの学校の体育館に集まり、「庄内よつば学園はどんな学校になるのか」「校舎や遊具の写真や完成イメージ動画を見る」（芝生広場に設置される遊具の写真が出たときには、歓声が上がっていました）など、庄内西小では篠崎先生・稻見先生から、庄内南小・千成小では井上先生が中心になって説明をしていきました。